

岩手中学校旧制 16 回

同級生名簿 並 近況のお便り

平成 22 年・10 月

(2010 年)

- ※ 9月の末、同級生の皆さんへ最近の様子をお知らせくださるよう連絡しましたら、皆さんから早速次のようなお知らせがありました。様子をお知らせくださった方たちに御礼を申し上げます。（住所等は別紙名簿をご参照ください。）

— 到着順 —

▽花館英世君：

お便りありがとうございました。懐かしいお便り、拝読三回くらい繰り返し読んで次第です。岩中時代を一部思い出した次第です。

今年の春6月蜂に刺され蜂毒過敏症で高熱を発し、意識不明で救急車で盛岡中央病院に搬送、一命をとりとめ20日入院しました。たしか体調充分回復しない時、新里の小山田君より同級会の話があり、出席しかねる返事をしたと思います。

現在すっかり回復してビール少々たしなんで居ります。82才、心臓の働きも老齢化しており、お医者さんより心臓の薬を頂戴して服用して居る現況です。

▽猪狩康三君：

最近クラス会がないのでさみしく残念に思っております。年に1回位は盛岡市内で皆と今昔の話しをしてはどうでしょうか。私事ですが年令の割には元気で暮らしております。健康保持のため近くの公園を2人で散歩したり、以前からソフトテニスのクラスに入って週2回参加しております。（ソフトテニスは早起きと火曜テニスに加入）毎年県の長寿大会に出場しております。

同級生と会って昔話をやりたいので是非その機会を作ってください。

▽大山哲男君：

十和田市に昭和38年から住んでおります。

現在は育成会内科、小児科で開業しております。親子3人での開業です。体調も良く、ゴルフ等でレフレッシュしながら何とか診療をしている状況です。

年も年なので同級会はどうでしょうか。

▽吉清水敏郎君：

現在義父は入院しながら介護施設の御世話になりながら過ごしております。

自宅にはおりませんので連絡は息子の方へお願いします。住所は同じですので宜しくお願いします。

\*編者註：文書はたぶん息子さんからと思われます

▽佐藤和照君：

私は現在全く元気で産婦人科小児科医院の医師として、私の出来る範囲で、診療に従事しております。勿論、高齢のため、お産、大きな手術等は行っていません。

ただ、私は高血圧症ですので、自分で処方した薬だけは服用し、1年1回は人間ドックで検診を受けています。

私は妻が平成18年9月30日に肺癌のため死亡し、全くの独身生活です。朝は午前6時30分頃起床し、病院の用意をし、朝夕の御手伝いの方が用意してくれた食事を食べ、昼食はパン或いはメン類を食べ、午前9時から午後6時まで診療し、その後、病院のカルテ、会計を整理し、午後10～11時頃就寝するようにしております。酒は全く飲まず、煙草は喫いません。

2人の息子の長男は内科医として開業しており、次男は産婦人科医として病院勤務しております。 以上です。

▽小笠原修三君：

数年前から足腰の疲れを感じるようになりました。

いくらかでも体力の維持と思い雨の日以外は散歩するように心掛けています。車で10分ほどの国民休暇村の駐車場に車を置き、「自然の小径」を30分ほど歩きます。

このコースは森林と海を眺めながら四季折々の植物と鳥などに会う楽しみがあります。数年前までは疲れを感じませんでしたが、今は坂道を登るときひどく疲れを感じるようになりました。これからは無理をせず道端の花を眺めながら、ゆっくり、のんびり散歩を楽しみたいと思っています。

▽藤沢道男君：

冊子を見て学徒動員で久慈、川崎、私も時々思い出しております。

私は仕事の関係で岩手から九州の佐世保、久留米に行き、静岡には昭和50年で、定年になり、静岡は約35年になります。

盛岡には時々帰っていますが車窓より北上川、岩手山を見ていると心が安らぎます。新幹線で盛岡駅が近くなると開運橋が見えたのがいつからか見えなくなったのが残念です。私は3月に直腸がんになりましたが発見が早く手術も順調で、又元気になり安心しています。

還暦同級会に出席したのが最後でした。皆様の幸福と、又会える日を楽しみにしています。

▽鷹嘴達衛君：

ご無沙汰のみで失礼しております。透析生活も五年目に入りましたが、そのお蔭でしようか特に体調が悪いということはないので有り難く思っております。

仕事としては「光ヶ丘スペルマン病院」の理事長職にあり、ホスピスを含めた 140 床の病院経営を担当しております。同級生諸兄のご健闘を祈っております。

▽松尾 茂君：

暫く御無沙汰して居りました。私も学校を卒業後、市内の病院を 9 ヶ所、市外の病院を 2 ヶ所転々し、現在は平成 20 年 5 月より孝仁病院（内科）に勤務して居ります。年をとれば毎日の勤務も辛く、来年の 3 月で一応常勤は終わろうと思って居ります。

- 今は愚妻と二人暮らしで、長男は仙台に、長女は市内に居りますが、中々のんびりした生活は出来そうもありません。

皆様も老後を楽しくお過ごしください。

▽榎本雅安君：

昭和 43 年に盛岡から仙台管区気象台に転勤になり翌年に当時新興住宅地の現在地に住むことになりました。以来仙台を拠点に 1~3 年転勤地に住み、仙台を行ったり来たりし、最後は青森気象台で定年退職、65 歳には仙台の気象協会を退職して仕事とはこれで縁を切りました。

退職後は社交ダンスに熱中、3 級から始まる 8 階級あるテストに挑戦し、70 歳で最高のスーパーファイナルに合格、その年はこのクラスの男性は私一人でした。

目標達成後はダンスは終わりとし、パソコンと遊んで現在に至っております。

病気もなく健康の方ですが、体力的には年相応かと思っております。

盛岡を離れて 40 余年、懐かしいのは岩手山測候所に勤務した関係もあり、岩手山写真集で故郷を偲んでいます。

▽山田武利君：

平成 8 年 8 月、食道の前癌細胞摘出手術のため 3 ヶ月半入院。

それが心労のためか退院後 10 日後に家内がくも膜下出血で急逝。その後 11 年間は老人の苦しい独居生活。3 年前の平成 19 年 8 月にここ盛岡市中の橋通りの老人ホーム「アンビシャスシティ志家」に入居して 3 年が経過しました。

だが昨春脳内出血で倒れ再び入院。幸い早く発見されたことから軽くて済み、入院 50 日で退院。現在リハビリに励む生活です。住所は I B C 岩手放送の隣のスーパーマルイチの上階です。近くを通ったら寄ってください。

▽石川 徹君：

拝啓 お手紙有難う御座います。同級生諸兄にはご無沙汰失礼しております。私も八十の坂を超え、数年前に激しい腰痛になり入院。目下近くの医院に杖をつきながら通院治療中の有様です。同級諸兄のご自愛を祈ります。

幹事役の諸兄には本当にお疲れ様です。 感謝。

▽小山田行男君：

相変わらず刈屋の会社に行き、土、日は松園です。近年、特にボケがひどくなり参っています。

▽佐々木和作君：

この度はわざわざ御手紙をくださりまして誠に有難うございました。小生無事元気で毎日頑張っています。小山田氏とは時々電話にて色々話しています。

富士氏にはいつも同級生のため御苦勞していただき本当にありがとうございます。いつか同級生が集まる時には御一報ください。なるべく出席したいと思っております。

▽佐々木 敏君：

今回の企画は中々よい案で期待して居ります。御苦勞様ですがよろしく願います。

さて、私は農家ですが、まだ野外に出て働いています。大きな仕事、田植えとか稲刈りは頼んでいますが、トラクターで耕起とか、畦の草刈りなど、休みながらやっています。1時間働いて30分休むなどです。身体に特に悪い所はないのですが、老化現象を感じずようになりました。

趣味として、毎週1回盛岡に出て教育会館で油絵を描いていましたが去年で止めました。県民会館や、「プラザ・オデッセ」で展示会に出品したり、写生会で方々に出かけたり楽しんでいましたが、盛岡に出るのが大儀となったので残念ながら止めました。

まあ、今後は体に気をつけて過ごしてゆこうと思っております。

▽山本 誠君：

<80歳>を越した昨今「可もなく不可もなし」と云いたいですが、体の各部品、日増しに老朽化、医者通いが趣味のような日々、、、。帰盛以来約20年、当初より3匹の犬、4槽の水槽で熱帯魚に明け暮れの毎日。最近、これらも止め、読書も少々不便なのでクラシック等のCDを聞いたり、のんびりとしております。諸兄のご健康を祈ります。

▽下山和夫君：

今年は90年ぶりとかの暑い夏がやってきて持病に振りかかり散々でした。最近の私の日課を示すと、朝は早々と洗濯、天気の良い日は庭の草取りなど雑用をこなしております。

また、健康維持管理の病院通いは以下の通りです。

- (1) 眼科：緑内障。20年位前から眼圧の維持管理のため目薬投薬。
- (2) 泌尿科：前立腺肥大で昨年6月頃から深夜の頻尿（5回位）で薬で治療中。

- (3) 循環器科、は、狭心症のため1ヵ月1度の診療（薬5種類）。3年前カテーテル治療をした。
- (4) 整形外科（理学治療）：整形は前々から腰部が悪かった。4年前、帯状疱疹にかかり、その後血行が悪く、腰部を主としたマッサージ、腰の牽引、電気低周波等の治療をしています。
- 以上、近況報告を致します。

▽黒沼正三郎君：

日頃離れてくらしているとついついごぶさた勝ちになります。従って「近況の交換」のご提案など考えればありがたいことで、便乗利用させていただきます。

さて、おたがい、よわい八十過ぎともなれば「生き残り組」の気配がしてくるのも否めません。からだもあちこち不調のきざしおさえがたく、必要に応じて病院通いとなり、各科の若いお医者方に年の割には元気なほうだとおだてられ、こまめに手当て貰って生きています。積極的な道楽はなく、せいぜい退屈しのぎの暇潰しに新聞は日経朝日をとっても読み切れません。ラジオは午前中のTBSの森本毅郎、大沢悠里のアワーをかけっ放しで、あとNHKのカルチャーアワーの漢詩なども時々。

以上です。諸兄によろしく。

▽中島 昭君：

昨秋、軽く脳梗塞にかかり、会話などに何の不自由はありませんが、物忘れが多くなりました。日常生活に何の障害もありませんのでご心配なく。

先ずは近況のお知らせまで。

不一。

▽五日市義巳君：

満81歳、昨年の10月27日、60年連れ添った妻が幾つかの病気が重なり他界しました。現在1人ぐらし。娘夫婦が幸いすぐ隣りに住んでいるので若干安心。長男もまだ定年前なので別居中。

わたしの人生もいろいろあった。最初の勤務は農業試験場。故あって1年余りで退職。そして盛岡農業高校定時制に勤務。その後、遠野、北上、紫波、花巻の農学校に勤務して平成元年に退職。

家庭に入ってから農協の役職員を若干年やり、また民生委員を15年間手伝い、また町の文化財委員も長年やり今その委員長をしております。そんな中で家の本業の農業もまだ現役でやっております。元気であるのが何よりと思って、酒も飲んでいきます。青春時代がなつかしくなってきます。みなさんといつか歓談する機会があればよいと思っています。

#### ▽佐藤喜和君：

よわい82才。よくぞこれまで生きてきたもんだと我ながら驚き喜んでいる。（平均寿命79.5才）育ち盛りは久慈、川崎など、ろくな食事さえとれなくてもまだ生きられそう。幸い女房共々健在。なに!! 100才まで!! まさか!

- (1) 65才まで勤め（公務員その他）現在、在宅（自宅）。
- (2) 平成11年4月、皇居で勲章（瑞宝章）をいただく。
- (3) 来年はダイヤモンド婚のお祝いをしたく考えている。
- (4) 子供2人（男子）。各々自宅をかまえてはたらいているがまごなし。
- (5) 我家の大切な家族。ワン君「パピヨン」。雄。11才。

#### ▽菊池寛二君：

福士さん、お手紙有り難うございました。元気しております。昨年何十年ぶりにお目にかかれて幸いでした。その折には同窓の話しや盛岡のことども色々伺うことができ一緒に家内も喜んでおりました。何せふる里は神戸からは遠く、花巻の空港に降りて盛岡駅までバスに乗り、途中周辺を見回してやっと故郷に帰ったと実感しました。（註：昨年寛二君が1級上の足沢至君のところに来て福士が呼び出され夕食を共にした）

近況報告ですが、年相応に健康であります。先月15日に白内障の手術をして両眼共に良く見えるようになりました。

来春には帰郷し墓参をと考えております。また、同期の方々にお会いできれば幸いです。日程が決まり次第お知らせいたします。

#### ▽池野了介君：

ご無沙汰致してすみません。今回の企画ご苦労様です。

昭和29年に花巻に移り住み爾来65才まで四つの会社でサラリーマン生活に専念しました。その間、心に残った級友との邂逅は、東北本線の車中で神父服姿の鷹嘴達衛君です。

退職後も引き続き宮澤賢治碑近くで暮らしております。誰にも苦にされずに盛岡で育ったので、地元の子供時代の友や親戚は皆無に近く、また最初に勤めた会社は消える様になったのでその時の友人は地元を去りました。従って地元での付き合いは薄く寂しいものがあります。

体の方は耳が遠いなどがありますが先ず先ずです。家の周りの3坪程の家庭菜園を晴耕し、歴史に関係する本など雨読する毎日です。

#### ▽渡辺二三君：

食欲の秋、食べつ飲むのがたのしみです。

数年前から歩く体は「く」の字に折れ曲がり、腰痛で20m位が限度です。整形医院に週に2回の通いです。治療院では「足は第二の心臓なのだ。歩くことです。」と励

まされています。人は足から老いるとか一。足を使う方策として家庭菜園を続けています。気のむくまま歩くことになっているのでは、、、。

4アールほどですが去る9日には、タマネギ400本植えました。たくあん大根100本、青首大根70本、白菜60コ、キャベツ45、ブロッコリー35、収穫の見込みです。年間約30種類の野菜づくりです。去年までは8アール耕作しました。

野菜出荷農家の話によると、多くの野菜は農薬漬けになっているのではないかとのこと。自家消費用と出荷むけ野菜とは作付の場所と農薬の使用量が明らかに区別しているとか一。体のこと、家族のことを思うと安心して食べられる野菜づくりに励もうと思っています。何才まで続けられるか分かりませんが頑張ろうと思っています。

日帰りのバスツアー旅行も楽しみで春秋各1~2日行っています。

#### ▽藤館秀行君：

素晴らしい企画をいただき感激しています。出来上がるのを楽しみにしています。

私は気持ちは元気ですが今年の春頃より下半身がしびれて歩行が正常でないので、受診したら脊柱管狭窄症と言われ服薬していますが治りません。あとは手術しかないそうですが、脊柱の手術なのでためらっています。

外出しないで家にいる分にはそんなに不自由ではないですが、歩いたり立ったりすると症状が出て困ります。

足が少し不自由な他は普通の生活をしています。碁をうったり俳句仲間や飲み友達もいて結構忙しい毎日を送っています。残された人生を楽しみたいと思っています。

#### ▽岩泉 明君：・・・・（奥さんから御返事をいただきました）

大変ご無沙汰しております。主人は忘れる病気です。最近は少し病気が進みました。ディサービス、ショートステイサービスの御世話になりながら家で過ごしております。皆様に宜しくお伝えください。妻 禮子

#### ▽杉本辰郎君：

昭和21年より開業した新聞販売業を平成6年に後任者に権利を譲渡し現在に至る。

その間：平成10年6月、一過性脳虚血症。 同15年4月、胃癌摘出。

同17年6月、心臓環動脈バイパス等、各手術を行ないました。

旅行も大好きで、海外も約20ヶ国位、国内も北は北海道、南は沖縄まで歩きました。現在、健康の為、ゴルフ、カラオケ、毎晩の晩酌を楽しんでおります。

体は健康です。

#### ▽浅沼昭典君：

現在独身（妻を亡くして12年） 再就職での無理から腰からくる歩行困難のため病院と買物に出掛けるほかは家事をするほかテレビを見て毎日を過ごしています。



▽圓子龍一君：

連絡をありがとう。何かとご苦労様です。同級生の皆さんとも会う機会も少なく、他の友達もどうしておられるだろうとの思いをしていただけに、今回のような企画の労をとられたことに感謝します。卒業以来早や60年も過ぎ、健康で活躍されている方もいれば鬼籍に入られた方もいるでしょう。感無量です。ともあれ、お申し越しの主旨に従って近況をお知らせします。

現在私たち夫婦は同居の長女との暮らしです。体調は腰痛その他で三か月おき位に通院加療と薬をとりに行くような状態ですがまあまあそれなりに元気です。車の運転も近場だけはやっていますが遠くへは娘の運転という塩梅です。最近も思い出すままに独身時代に歩いた道筋を親子三人で辿って、宮城三陸を振り出しに藤沢町大籠のキリシタン遺跡やその他を訪れるなど、60年ぶりの懐旧旅行をしてきましたが昔日の面影を止め得ないところはそれなりに、また、記憶をはっきりと呼び覚ますところと二泊三日の懐かしい旅行をしてきました。また、10月の始めには岩木山に行ってきましたが大鰐温泉に泊まり、見渡す限りのリンゴ園にたわわに真っ赤に色づいたリンゴのついている光景のアップロードは圧巻で、それと岩木山の魅力にとりつかれて毎年この時期をねらって通い、今年で三年目です。

とりとめのない書き様ですが以上お伝えして近況報告に代えさせていただきます。

諸兄の健康をいのりつつ。 圓子龍一

▽坂下英夫君：

坂下英夫です。81才になりました。

家内と2人暮らしですが、孫が2人大学通学のため同居しています。わたしは若い頃から高血圧症でしたのでその薬を服用していましたが退職して半年で正常になり、今でも変わりません。糖尿病も若い頃からありましたが、今はヘモグロビンが6.2～6.8位でまずまず安定しています。アルコール類を止めましたし、運動を多くするようになったためと思われまます。

スポーツでは、走ること、投げること、それにジョギングをしていますし、山登りなど体を動かしているのがよいようです。頭の体操では老人クラブの会長を17年続け、頭を働かせているのでボケもあまり感じられません。

子供3人はそれぞれ職を持って安定しています。孫は6人（男3、女3）です。そのうち4人は下記の通りです。

長男の子（男）は東京大学大学院修了（今年3月）

次男の子（女）は岩手大学教育学部在学中（私の家に同居中）

長女の子（男）は岩手大学教育学部卒業（在学中は私の家に同居）

〃（男）は岩手大学工学部に在学中（私の家に同居中）

みんな元気で長生きしましょう。今ピンピンコロリ願望の人が増えているそうですね。

▽山本千里君：

連絡を頂き有り難く存じます。山本は体調、腰足がよくない。歩行に杖をもっています。

◎ 社団法人「サンロック」：平成 22 年 7 月法人。

冬の道路に塩を中止して環境保全、交通安全に資する「サンロック」を全部使用する。11 月中にお会いしたく思います。

▽佐々木睦郎君：

最近の様子をお知らせくださいとの事ですが小生はいつも通り元気で仕事をしております。安心ください。

ただ、最近親戚の叔母が亡くなり非常に忙しい日が続き、10 月 16 日までに最近の様子をお知らせできず申し訳なく思っています。まずはわかりなく元気でおりますので宜しくお願い致します。

▽福士俊朗：

わたしは山中先生と同じく英語教師で人生の大半を過ごしました。下橋中を振り出しに岩手大附属中に 19 年、その後地方の公立中学校に勤務。公立退職後は私学の龍澤高校（現盛岡中央高校）、そして最後は岩手大人文社会科学部講師で 50 年に渡る教員生活を終えました。

若い頃は生徒百人を率いて岩手山登山は 20 回以上、その度に岩手山神社で宮司小原實麿君と会い、冬はスキーに凝って八幡平の猛烈な吹雪に出逢ったり輝く樹氷を楽しんだりしました。今は年をとって静かに家において、夕刻一杯の焼酎に至福の時を迎え元気に暮らしております。

\* \* \* \* \*

#### 【編集を終えて】

今度のこの企画は、小山田君ほか数人と会食した折、お互い、いい年になって「みんな、ナンチョデラベ」というところから始まりました。

この度、名簿記載の 109 名のうち 49 名の方々に近況お知らせをお願いしたところ、上記のように 33 名もの方々から心温まる御返事をいただきました。心から御礼を申しあげます。

あの「思い出の手記」発刊以後、名簿に記したように、ここ十年余りの間に多くの級友たちが逝去されています。誠に傷心に堪えません。

今後の同級生諸兄のご健勝をお祈り申し上げ報告といたします。